
恋姫無双外史伝

遠方夢路

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋姫無双外史伝

【Nコード】

N96210

【作者名】

遠方夢路

【あらすじ】

仮面ライダー（仮）本郷一刀は改造人間（未完成）である！

(前書き)

この小説は、続く事を前提としておりません！

完全な短編小説です、続きを書きたい人がいらっしやいましたら御一報を！

これは、夢である。

「うあああつ！！ ああああああつ！！ ああつ！ ああああ
あああああああつ！！」

夢の中の俺は追われていた。

「た、助けてくれっ！！ 叔父さん！ 隼人さんっ！ 志郎さんっ
！」

何者かの『ナニか』に貫かれた脇腹がジクジクと痛み、血を吐き続
ける。

助けは来ない。

そうだ、夢だ。

ただの夢だ。

あの時の俺は、走って逃げたりしなかった。

あんなに泣いて、叫んで、喚いて、逃げたりしなかった。

「助けて！ 助けて！！ 助けて！！！」

そうだ、あの時は。

脇腹を貫かれた時点で、俺は。

俺の、体は……。

走れない。 逃げれない。

残った上半身で、這う事すら出来ず、明滅する蛍光灯を、ぼんやりと、ただ、ぼんやりと。

眺めているだけだったじゃないか。

これは願望だ。

もし、あの時、あの一撃で俺が致命傷を負わず、且つ……。

「はあっ！ はあっ……、けふっ！ げふっげふっ！！ くうっ、ああっ！！」

走る先に光が見える。

暗い暗い、トンネルの先に、光が見える。

光の先に、3つの影。

「叔父さんっ！ 隼人さんっ！ 志郎さんっ！」

三人の影に、夢の中の俺は手を伸ばす。

助けてくれ……っ！！

これは願望だ。

普通の『人間』として生きていたかった。

そんな願望。

もし、あの時。

叔父が、隼人さんが、志郎さんが。

もっと早く……！！

「あーあー、別に良いよ、どうでも……」
「どうでもって……、かずぴーは冷たいっ!」
ピンク色のハンカチを『いーっ!』と、噛み千切るかの様なリアクション、まったく、テンションの可笑しい奴だ。

コイツの名前は、及川佑、俺の数少ない友人の一人である。

「まあ、アレだな、起こしてくれた礼も兼ねて……、そうだな、早坂でも拉致って黎明館でお茶でもしようか?」

「はあ? なになに? 奢ってくれるんか? めっずらしく、かずぴー結構ケチ「お前、ドリンクだけな」財布の紐が固い堅実派!」

「……オムライスでいいか?」うわーい、かずぴー太っ腹!」

「でも、ほんま、珍しいね? かずぴーが眠りこけとったり、簡単に奢るって言ったり……、それにワイ、かずぴーが汗をかいたるん初めて見たわー」

「あー、まあ、な……、夢見が結構悪くてな……、起こしてくれた事に結構感謝してたりするんだよ」

額にうっすらと滲む汗を、制服の袖で拭くと、微かに汗特有の匂いが鼻を刺激する。

「……、ほんと、良く出来てる」

「ん? 何か言った? かずぴー」

「いや、何でも無い、それよりも早坂を確保しないと……、アイツの事だ、もしかしたらもう黎明館に居るかもしれないぞ?」

「おけ、ほんならケータイにかけてみるわ」

……

……

……

俺、『本郷一刀』は、改造人間である。

冗談で言った訳では無い、本当だ。

十三の時、俺は、否、俺の家族、一族は、ある秘密組織に襲われた。年寄りも、子供も、皆。

みなごろしだ。

本郷本家、その分家、東郷、西郷、南郷、北郷……、合わせて七十四人。

その、七十四人の内の一人、ソレが俺、北郷……、否、本郷一刀だ。

あの日、あの夏の日、人間、北郷一刀は死んだ。

今此処に居るのは、改造人間、本郷一刀なのだ……。

7

が、改造人間、本郷一刀は完全では無い。

何故なら、

「変身出来ない改造人間に意味なんかあるかつ」

一刀が吐き捨てた様に、今の一刀に変身能力は無いからだ。

中学三年の冬の事だった。

『一刀、せめて高校を卒業するまで待て、お前にこの地獄は早過ぎ

る』

一刀の養父、本郷猛の言葉である。

いつもは養父に従順な一刀が、この言葉にだけは噛み付いた。

「なんでだ！ この体が成長する事なんか無いのは父さんが一番知ってるだろっ！」

改造人間は成長しない、これは絶対である。

たしかに、人工筋肉は修練で増大し、戦闘訓練で戦闘能力は増すだろう。

しかし、成長しない。

何回でも言う、成長しない。

『絶対』に成長しない、しないったらしない。

全く無い。

芽すら無い。

身長は147.5cmで固定である。

『わかった……、高校卒業まで待ったら、変身の為の回路を繋ぐ手術を行う時に、年齢に見合う様に調整する』

「本当に！？ やった！ 待つよ！ 俺、高校卒業まで待つよ！！」

その約束は、俺の心に仄かに、しかし確かな希望の光を灯したのだ。
った。

………

………

………

それが、何故？

「へへへ、ぼーず、良いもん着てるな？」

「ア、アニキ、こんな服見た事ないんだな」

「おら！ ガキ、さつさと脱ぎやがれ！」

こーなつた？

身長は147・5cmで固定である。

つづかない

(後書き)

本当に続かない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9621o/>

恋姫無双外史伝

2010年11月17日04時18分発行